



岩石採取認可取得

更新時期を迎えていた岩石採取認可を取得しました。通常は認可期間が5年のところ、加ポイント評価していただき6年認可となりました。

概要は、サツバ沢地区における表土処理、原石採取と下平地区における残土処理、盛土成形の作業を6期36年で施工する計画です。長期計画となることから、社会情勢の変化に応じて、1期(6年)ごとに見直し、変更をしていくこととします。資源の確保は採石業の一丁目一番地、安定した事業継続の根拠となるものです。計画通りの進捗が達成できるよう頑張りましょう。



～ 他山の石 ～

青森県平内町に奇異な山がある。標高267mの引ノ越山である。どう見ても何かいわくのありそうな山で前から気になっていたのだが、先日通りかかったのをきっかけに調べてみた。岩が露出した独立峰だったこの山に着目し、昭和37年から昭和40年にかけて3社の採石業者が採掘を開始した。岩種は安山岩で、物性値も良好で、鉄道道床用やコンクリート用の骨材として出荷されていた。採掘前の地形が定かではないが、150万m3ほどの採掘が行われたと考えられる。3社ががむしゃらに採掘を続けた結果、頂上から採掘しなければ採掘が困難となったが、さすがに町役場も地区住民も山の形が無くなることには反対で、東側町有地は売却されることはなかった。その後、オイルショックも重なり、昭和50年に2社が撤退、残る1社も昭和55年に撤退した。結局、採掘開始から18年で終掘を迎えている。

終戦後の昭和25年に採石法が施行され、採石業が社会に認知され始め、この頃から安全、防災に関する社会的責任も発生してきた。昭和47年には採石技術指導基準書が制定され、採掘方法や防災技術の指針が示され、本来であれば引ノ越山も基準書に基づき、跡地整理がなされるべきであったのであるが、3社とも倒産したため、緑化還元されることなく放置されている現況である。

現在までの経緯を知り、引ノ越山を眺めると痛々しさが増す。需要があり、供給がなされて、それが循環すると産業としての礎ができる。引ノ越山は黎明期の地方における採石業の典型だったのかもしれない。技術や価値観の変化に応じ、その時の判断が正しかったかどうかは、後世の人が考えなければならない。ただ、確実なのは、今現在には責任があるということである。引ノ越山のある内童子地区の人たちは、この山に悲観も楽観もしていないように思える。子供たちは引ノ越山のことをゴリラ山と呼んでいるようだ。

※参考・出典 東奥日報「青森県の山々」



ゴリラの顔に見える？



南西方向からはきれいな山容が見える



ワールドカップラグビーに あっつく感動！(^0^)/

日本が快進撃を続けている！前回ワールドカップでは、南アフリカに土壇場での逆転勝利から4年、さらに進化した日本チーム！自国開催ということで、これまで関係者はじめ、選手一同どれだけ懸命に弛まない努力をしてきたことであろう！選手たちのインタビューから、自信をもってそれだけの練習をしてきたと話す姿に心が震える。外国出身選手も混ざり体型的なハンディは多少克服されていると思われるが、それでもスクラムハーフの田中史朗選手は166cmだし小柄な選手もいる。そんな中で世界の強豪相手に勝つには卓越した戦術と、規律を守り、ミスをしなない組織力が求められる。世界2位のアイルランド戦ではキックをさけ、連続攻撃で相手を翻弄した。その結果相手のペナルティーを誘い、ペナルティーキックにて細かく加点したことも大きかった。主将のリーチマイケル選手は「勝てるとういう自信が一番の勝因だ」と言っているようにそれだけ練習してきたことで、仲間や自身を信じ切れたのだと思う。前回南アフリカ戦では「世紀の奇跡」とまで言われたが、今の日本をそのように評価するマスコミはいない。ラグビーは見る人を魅了する、なぜか！人間と人間が直接ぶつかりあい、そこには一定のルールがあり、それを厳格に守らなければ戦況は不利になっていく。観る人にとってもそれが潔く、気持ちがよく、感動を生む、それがラグビーだ！なによりボールを前にパスできないというのが一番の魅力かもしれない。再びラグビーブームが来るかもしれない。ラグビーの街釜石が復活してほしいと願う！

ちょっとだけラグビーをかじったことがあるラグビーファンより



初秋三景

秋はあけぼの

ある日の深紅な朝焼け。朝日観音の下の4号線から折爪岳を望む。朝日山とは絶妙な命名である。



アマランサス

豊満でゴージャス。たわわに実る刺激的な赤い実は、稲穂とは比べ物にならない。それでも地味な雑穀なのだ。

実りの秋

知らぬ間にできた裏通りの無人売店。住宅地のすき間の菜畑のおすそ分けである。



どれでも1,000円

編集後記

暖かい9月でしたね。去年の手帳を見ると『10/1台風で学校休み』と書いてありました。そういえば台風の影響

もあまりない年だし、雪もほどほどだったら過ごしやすい岩手。

ただ・・・これはこれでいいのか心配です。